



- 創 立：1979年1月23日
■例 会：毎週火曜日 17:30～18:30
■例 会 場：奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
■事 務 所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
■会長：宮西 正伸 ■副会長：水野 憲治 ■幹事：門脇 伸幸

会長挨拶

【宮西会長】



今月は6日（日）の地区大会、8日（火）の第2回親睦ゴルフコンペ、10日（木）の春の交通安全運動市民決起大会などがございまして、夫々ご参加いただきました会員の皆様、有り難うございました。また先週は東京恵比寿RCから13名がお越しになられ、例会後は奈良ホテルの方に館内をご案内いただき、その後はバーで懇親会を開催致しました。武田会長から、凛とした雰囲気の中で、よくおもてなしいただきましたとお

礼を頂戴致しまして、皆様のご協力有り難うございました。

13日（日）には、第2回鷗尾の会 会長・幹事会（現・次合同）がホテル日航奈良に於いて開催されまして、2点ご報告致します。まず、ガバナー補佐を各クラブ輪番制にしてはどうかという提案につきまして、当クラブは、3月11日（火）開催のクラブ協議会で、反対することになっておりましたが、ガバナー補佐からこの提案を取り下げられましたため、輪番制の話は無くなりました。また、先日皆様もお聞きになられたと思いますが、奈良中央RCが誕生致しまして、当日もご出席されておりました。ご意見をお持ちの方もおられるかと思いますが、RIから認証され、中本ガバナーも祝福されておられますので、今後お仲間として、お付き合いも出てくるかと思っております。たまたま懇親会で、私の隣に奈良中央RCの会長がおられ、お話を伺いましたところ、平城京RCを退会されたメンバーが10名ほど、残りの方は子ども食堂を運営するNPOの方で構成され、子供の居場所を作るということをまずはメインに、地域に奉仕する活動を目指すというお話を伺いました。事務局を大宮小学校の南東にあります子ども食堂の所在地におかれ、当面例会もその場所で行われるとのことでした。5月11日（日）にはチャーターナイトが開催されますので、改めまして報告させていただきます。

例会プログラム

第38回 5月13日 通算2140回

1. 握手挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. 会長挨拶
5. 例会状況報告
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. クラブ討論会
9. 閉会点鐘

例会状況報告

4月22日 通算2139回

- ・会員数 67名
- ・出席免除者数 15名
- ・出席者数 48名
- ・出席率 81.36%

4月1日 通算2137回（修正）

- ・会員数 68名
- ・出席免除者数 14名
- ・補填者 9名
- ・出席率 96.67%

その他、報告と致しまして、青少年交換学生の河野アスカさんですが、行かれる国がフィンランドに正式に決定致しました。また、残念なお知らせですが、4月3日（木）に2004～05年度のガバナーでおられました、敦賀RCの神谷保男様がお亡くなりになりました。享年96歳でいられました。

さて、例会が祝日のため2回連続で休会となります。今週土曜日の大宮駅北側庭園の草引き、その後の懇親会で皆様にお会いできますことを楽しみにしております。以上でご挨拶と致します。有り難うございました。

詳しくは動画をご覧ください。

委員会報告

【出席委員会 川邊委員】

・出席報告

【ニコニコ委員会 南谷副委員長】

・ニコニコ報告

【RLI卒後コース終了証の授与 鈴木副幹事】



RLIの卒業コースを受講してまいりました。RLIは非常に大変な研修ではありますが、その中で学べることも多く、大変有意義なものであると感じております。

次年度には、ファシリテーター講習のようなものが予定されており、こちらも受講してくるようにと、高野会長エレクトからお話をいただいておりますので、参加しようと考えております。当クラブにおきましては、副幹事（次年度幹事）がRLIを受講することが多いのですが、それ以外の方々にとっても非常に有効な研修であると思います。ぜひ多くの方にご

参加いただきたいと思います。

もし「受けてみたい」という方がいらっしゃいましたら、ぜひ私と一緒に参加していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【親睦活動委員会 清岡委員長（案内・連絡）】



皆さん、こんばんは。本日は三点ご連絡いたします。

まず一点目、鷗尾の会ゴルフ大会についてです。本日が最終受付日となっております。現在7名の参加がございます。可能であれば8名にしたい意向ですので、ご参加希望の方はぜひお申し出ください。

二点目、第4回家族親睦例会の集金についてです。先週から受付にて集金を行っておりますが、本日時点で4名の方が未集金となっております。次回と次々回の例会は休会のため、5月13日が集金最終日となりますので、ご協力をお願いいたします。

続いて、5月18日（日）の万博についてです。団体枠でチケットを手配しており、三菱未来館のパビリオン予約を予定しています。それ以外のパビリオンは各自でご予約ください。なお、団体枠の予約は来場3日前からのみ可能です。そのため、チケットは5月13日の例会でお渡し予定ですので、その後、予約については必要に応じ各自ご対応をお願いいたします。

最後に、太宰府ロータリークラブ訪問についてです。5月19日（月）夜に博多で懇親会（当クラブのみ）を予定しており、20日（火）に例会が開催されます。本日、受付にて出欠確認を行っておりますので、参加希望日を明記のうえ、ご回答ください。

以上、よろしくお願いいたします。

【社会奉仕委員会 山口委員長（報告）】



社会奉仕委員会からご報告いたします。

先週、4月10日に開催された「春の交通安全運動市民決起大会」に参加してまいりました。事前にご案内しておりました通り、宮西会長が表彰されました。

多数の方が表彰される中、宮西会長は代表として壇上に上がられ、堂々とされた姿がとても印象的でした。周囲からも「大宮ロータリーはすごいな」といった声が聞こえてきたような気がしました。来年もこのような賞をいただけるよう、頑張りたいと思います。以上です。

【国際奉仕委員会 堀内委員長（国際奉仕アカ族事業の報告）】



皆さん、こんばんは。
今月一日の夜から、国際奉仕委員会で増井さんと私の2人で、アカ族への寄付を目的に、国際奉仕事業として山岳民族に向けた水の受水槽寄贈事業を行い、現地での検証と寄贈式に参加してまいりました。
ちょうど10年前にアカ族のもとへ初めて伺った際は、空港に降り立つとすぐにトラックの荷台に乗せられ、あちこち走り回ったものでした。
今回は少し改善され、トラックの後部座席に乗って山へ向かいました。
四輪駆動車でしか行けないような急な坂道を登り、無事に受水槽の工事が完了していることを確認できました。

取水口から約2.5キロ引水し、村のタンクへと繋がっていました。村人の皆さんも非常に喜んでくださり、「本当に助かっている」とのお声をいただきました。

翌日は移動・予備日として一日確保しておりましたが、特に問題もなかったため、すぐに増井さんとともに帰国しました。現場で無事に奉仕活動の成果を確認できましたので、ここにご報告させていただきます。

なお本日、現地・チェンライで購入したお菓子をお土産としてお持ちしておりますので、ぜひお召し上がりください。以上です。

【IAC（向井委員長にかわり、門脇幹事が報告）】

昨日、4月21日にインターアクトクラブの本年度最後の例会が行われました。例会では、年度の事業活動報告が行われ、また次年度の役員も決まりました。次年度の役員は、自ら立候補する形で8名が決定し、なかなか活発な様子でした。次年度も引き続き、意欲的に活動してくれそうな雰囲気でした。

なお、次回の例会は5月13日を予定しており、インターアクトクラブの皆さんが当クラブにお越しになり、卒業と活動報告をしてくださる予定です。その際は、ぜひ皆さんからも温かいお声がけをお願いいたします。以上、ご報告いたします。

【米山奨学生オリエンテーション報告 弓場次年度カウンセラー】



皆さん、こんばんは。4月12日（土）、ホテルグランヴィア京都にて、「米山奨学生のためのオリエンテーション」が開催されました。今回のオリエンテーションは「2025学年度」という表現になるそうです。宮西年度と高野年度をまたぐ形となります。

当クラブからは、中国出身の潘梓桐（ハン・シトウ）さんが2025学年度の米山奨学生に選ばれ、一緒にオリエンテーションに参加してまいりました。オリエンテーションは滞りなく進行し、必要書類への署名・捺印もすべて無事に完了し、問題なく受理されたと伺っております。なお、

ハンさんは大学の授業の都合により、後半は中座されました。
ハンさんが在籍しているのは奈良大学文学部で、研究テーマは「日本の仏教技術の探求」とのことです。潘さんの当クラブ例会への初参加は、来月5月13日（火）を予定しております。その際は、皆さまどうぞ温かい笑顔でハンさんをお迎えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。以上です。

【健康・体力作り事業団から 植村直前会長（紹介）】



皆様、こんばんは。一つご紹介させていただきます。

昨年度、私が会長を務めた際に卓話にお越しいただいた辻野和美さんという方がおられます。この方は骨盤底筋の研究もされており、今回、奈良女子大学と協力して「普段の姿勢、気にしている？」というリーフレットを作成されました。

受付のテーブルに置いておりますので、ぜひお持ち帰りいただき、一度お試しいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

幹事報告

- ・ 4/19 地区研修会議
次年度 高野会長
鈴木幹事
野崎管理運営委員長
松岡職業奉仕委員長
平方青少年奉仕委員長
森山会員増強委員長
広報・IT委員長代理西本会員
弓場米山奨学委員長
吉田国際奉仕委員長 が出席されました。
- ・ 4/20 第2会職業奉仕担当者会議に志茂委員長が出席されました。
- ・ 堀内国際奉仕委員長・先週の東京恵比寿ロータリークラブからお土産を配らせていただいています。
- ・ 連絡5/20太宰府RC訪問
- ・ 4/29・5/6休会
- ・ 5/13（火）クールビズ
- ・ 4/26（土）新大宮駅北側草引きとその後懇親会

※次年度概況報告掲載の住所・TEL・メールアドレスのご確認を御願い致します。
又写真の撮り直し希望の方はトミカラー様にて撮影しますのでお早めにお撮りください。

◎状差し

- ・ 5月月間スケジュール表・風の便り
通刊126号
- ・ 5/20太宰府訪問のご案内
- ・ IM報告書及びオンライン版ご案内

◎受付出欠

- ・ 4/26（土）新大宮北側草引き出欠
- ・ 5/20（火）太宰府RC訪問出欠

結婚記念日・誕生日(賀寿)お祝い

結婚

- 北河原公敬会員(4月2日)
- 西本隆一 会員(4月6日)
- 高野 治 会員(4月15日)
- 潮田悦男 会員(4月29日)
- 市田富久夫会員(4月29日)

誕生日

- 倉田智史 会員(4月15日)
- 松岡浩治 会員(4月22日)
- 山口尚紀 会員(4月24日)
- 金田智仁 会員(4月25日)



乾杯挨拶【水野副会長】



今月、結婚記念日や誕生日を迎えられた会員の皆さま、誠におめでとうございます。今年度の各委員会事業もほぼ終了し、皆さまには総括をお願いする時期となりました。本日は「体験」と「経験」の違いについてお話しします。体験は単なる行動を指し、経験は成果目標を明確にし、結果に対する評価を受けて自己改善につなげる行動を指します。例えばゴルフで、ただ100球打つのは体験、目標を定め達成を目指すのが経験です。今年度、皆さまはどんな体験・経験をされたでしょうか。次年度もこの経験を生かし、より実りある一年となることを願い、乾杯いたします。ご唱和、よろしくお願いいたします。

乾杯！ありがとうございました。

卓 話

テーマ：地区委員報告

講師：規則・手続き委員会 平方委員

IA委員会 倉田委員

グローバル補助金委員会 増井委員

規則・手続き委員会 平方委員



本日配布した資料について、訂正が二点あります。

一つ目は「構成員」の欄で「規定審議会代議員」としていた箇所を、正式な呼称である「代表議員」へ訂正願います。

二つ目は「比較囲みの参考」で「規定審議会、3年に2回」としていた部分を「3年に1回」に訂正してください。

続いて、私が規則・手続き委員会の委員に就任した経緯を説明します。幹事を務めていた際、やまと西和ロータリーの方から「そろそろ代わってほしい」と依頼がありました。副委員長を務めるその方が委員長就任を

避けたい意図を感じつつも、ロータリーにおける「原則断らない」という精神に則り、次年度会長の宮西さんの了承も得て、正式に引き受けました。任期は1年限りではなく、次年度も継続予定です。委員会の構成は、刀根パストガバナーがRI規定審議会の代表議員を務め、大半を担っておられます。委員長は福井県の方で、京都2名、滋賀1名、奈良1名が選出されています。メンバーは主に弁護士・司法書士です。

活動内容は、①規定審議会対応、②決議審議会対応、③地区大会決議委員会対応の三つです。

まず規定審議会ですが、三年に一度開催され、2025年がその年に当たります。RI定款・細則の改正案を審議・採択する場であり、各地区から代表議員が参加します。今年は刀根パストガバナーが代表としてシカゴに赴き、2650地区からは三件の議案を提出しました。

一つ目の議案はローターアクトクラブに関する規定改正で、審議の結果、理事会に付託（Referred to the Board）されました。

二つ目・三つ目の議案は事務総長の選定・報酬に関する改正案でしたが、いずれも否決されました。また、規定審議会結果の地区報告会が2025年5月30日にオンラインで開催予定であり、当クラブからも参加予定です。これに伴い、「手続き要覧」も改正される予定です。

次に、決議審議会への対応ですが、2026年開催予定の決議審議会に向け、8月にクラブへの決議案提出案内を行い、提出された場合は委員会審査を経て地区大会で決議し、RIに提出します。決議審議会は制度改正を目的とせず、方針や理念に関する提言を行う場です。

最後に、地区大会決議委員会対応についてですが、規則・手続き委員会のメンバーが兼任しており、地区大会では第一号～第六号の定型的決議案に加え、新たな提案があれば第七号決議案として上程されます。今年はRIのDEI方針再検討要請、およびロータリー基本原則の実質的実施再確認要請の二件が上程されています。

その二つとは、RIのDEI 方針を再検討するよう理事会に要請する件、ロータリーの基本原則は、加盟クラブの実質的な自治であることを再確認するよう理事会に要請する件です。以上が本日の報告です。詳細は配布資料をご覧ください。ありがとうございました。

IA委員会 倉田委員



私から、インターアクト地区委員会に関するご報告をさせていただきます。地区の委員として活動を始めてから約5年が経ちました。当初は「地区は少し怖いところでは」と不安に思っていたましたが、クラブの先輩方から「楽しいところだよ」「飲みに行くことが多いから大丈夫」と励まされて参加しました。実際に出向してみると、クラブで感じていた活動との違いを実感し、特に青少年奉仕に関する取り組みは、クラブと地区では立場や視点が大きく異なることが分かりました。

皆さまには次年度の地区委員会の活動計画を配布しております。当クラブは、奈良女子大学附属中等教育学校のインターアクトクラブを支援するスポンサークラブとして活動していますが、奈良県内には他にも一条高校、橿原学院高校とあわせて3校のインターアクトクラブがあります。2650地区全体では現在19校のクラブが存在しています（以前は20校でしたが、近年1校減少しています）。

他クラブの様子を聞いていると、学校側とうまく連携できていないケースもあるようですが、当クラブはインターアクト委員長をはじめ、会長・幹事、そして多くの会員の皆さまが学校と密に連絡を取り合い、例会にも積極的に参加されています。こうした関係性が、奈良女子大学附属中等教育学校との強固な連携の基盤となっており、他クラブの模範とも言える活動が行われていると感じています。

地区委員会の年間活動の柱は、大きく分けて「地区大会」と「海外研修」です。昨年11月には、当クラブがホストとなり、インターアクト地区大会を開催しました。この大会は毎年秋に実施され、地区内のクラブが持ち回りで担当します。今年は10月18日・19日に、滋賀県のヴォーリズ学園で開催予定です。びわ湖八幡ロータリークラブと近江八幡ロータリークラブがホストを務めます。

もう一つの重要な活動が「海外研修」です。今年は8月3日から6日まで、4泊5日の日程で実施される予定です。かつてはカンボジアや台湾など海外研修が盛んでしたが、コロナ禍で中止や国内研修に切り替えられていた経緯があり、昨年の台湾訪問からようやく再開された形となります。

この研修では、生徒たちが単なる「体験」ではなく、人生に影響を与える「経験」を積むことができます。昨年、私も初めて同行しましたが、本当に多くの学びと気づきを得ることができました。水野副会長が述べられたように、「体験」ではなく「経験」という言葉の重みを実感しました。高校の3年間でこのような貴重な経験を重ねた生徒たちは、卒業後にロータリーアクトなどへと活動の場を広げていく可能性もあります。

奈良女子大学附属中等教育学校の生徒たちは非常に優秀で、英語も堪能です。私は英語が分からず会話の内容は理解できませんが、その姿を見るだけで感心させられます。こうした意欲あふれる生徒たちの活動を、今後も地区・クラブの両方でサポートし続けていきたいと考えています。

地区の活動とクラブの活動を交えての報告となりましたが、以上でインターアクト地区委員会からのご報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

グローバル補助金委員会 増井委員



本日はグローバル補助金委員会の活動についてご報告いたします。以前、私は高野さんの勧めで、インターアクト委員会にも1年間、所属しておりました。その後北河原ガバナー年度には、スライドする形で地区青少年委員会幹事も務めることになりました。その後、高野さんから「グローバル補助金をやりたい」という熱意ある電話を受け、グローバル補助金委員会に加わることとなりました。「お前は行くだけでいい。俺が全部やつくから」と言われましたが、実際にやってみると、公募要領と異なっていると思いながらの初挑戦は苦労の末、グローバル補助金は実現できませんでした。

その際、奈良クラブの柳沢さんに通訳をお願いし、RI本部との折衝に助けていただいたご縁から、今はグローバル補助金委員として活動しています。柳沢さんの「カバン持ち」をして早くも4年が経ち、現在は13名体制（京都6名、滋賀3名、福井2名、奈良2名）で活動しています。私は奈良クラブ担当として主に北部地区を受け持っています。

グローバル補助金にはいくつかの課題があります。特に2650地区独自の制限として「補助金の上限3万ドル」「DDF申請額の10%を自クラブで負担」があり、申請のハードルは決して低くありません。

私の所属する大宮ロータリークラブではこれまで2回申請に挑戦しました。1回目は公募要領の曖昧さもあり、重点分野に合致しないという理由で実現に至りませんでした。2回目は国際パートナーとの連携がうまく進まず、書類作成も難航し、途中で中止となりました。グローバル補助金では、海外クラブとの協力が不可欠であり、それが一番の難関となっています。その一方で、地区内ではさまざまなクラブが挑戦を続けています。たとえば、奈良クラブはベトナムでの就学支援、奈良東クラブと桜井クラブは住血吸虫症対策事業、伏見クラブはフィリピンの医療支援、びわ湖八幡クラブはパキスタンでのトイレ整備、京都西クラブはハワイ・マウイ島の植林活動、京都さくらクラブはカンボジアでの教育支援、福井フェニックスクラブは国内で外国クラブと連携し公園再生事業を行っています。また、福井北クラブはトンガ王国での活動を継続中です。

RI全体では、補助金は大きく4種類あります。地区補助金（約45億円）、災害援助基金（約6億円）、グローバル補助金（約105億円）、そして大規模プログラム補助金（約3億円）です。中でもグローバル補助金が最も多く、私たちは通常の事業型補助金のほか、奨学金型の補助金も担当しています。

私個人としては、交渉の困難さから、奈良では奨学生支援型を主軸にしても良いのではないかと考え、地区にもそのように提案しています。私たち委員会の役割は、各クラブが補助金を申請しやすいように助言・支援を行うことです。委員会は2ヶ月に1度ガバナー事務所で開催しており、必要に応じてリモートでの打合せも行っています。

グローバル補助金への挑戦をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。私たちがお手伝いさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございました。

国際ロータリー第2650地区2025-26年度 地区研修・協議会

日時：2025年4月19日（土）13時から16時30分

場所：国立京都国際会館

《分科会》

- ① 会長 高野 治
- ② 幹事 鈴木 譲
- ③ クラブ管理運営、ロータリー情報、規則手続 野崎 隆男
- ④ 職業奉仕・社会奉仕 松岡 浩治
- ⑤ 青少年奉仕、青少年奉仕全般、インターアクト、RYLA、青少年交換
ローターアクト、学友 平方 貴之
- ⑥ 会員増強 森山 憲克
- ⑦ 公共イメージ 西本 隆一（増井義久委員の代理）
- ⑧ 米山奨学 弓場 裕史
- ⑨ ロータリー財団・国際奉仕 吉田 英正（敬称略）



社会奉仕・職業奉仕分科会では、リーダー講話として、北河原P Gが講話くださいました。



奈良大宮ロータリークラブ所属の北河原です。私は現在、地区職業奉仕委員会の諮問委員を務めており、本日は「職業奉仕・社会奉仕」についてお話しいたします。

ロータリーには「四つのテスト」と並び、「ロータリーの行動規範」があります。その中では、「ロータリアンは職業や個人として高潔さと倫理を重んじ、公平さと敬意をもって他者に接することが求められています。また、多様性や公平性を尊重し、職業を通じて社会や地域、さらには世界に貢献する姿勢が重要とされています。私たちの行動が、ロータリーの評判を損なうことがないように、常に意識を高く持たねばなりません。」とあります。

また、ロータリーの奉仕事業においては、「誰のために、なぜ、何を、いつ、どこで、どのように行うのか」という6要素を明確にすることが大切です。これらの要素をしっかりと押さえることで、事業の意義や方向性が明確になります。

ところで「職業奉仕」という言葉は、日本では「奉仕＝サービス」と訳されがちですが、英語での“Service”には「業務時間」「提供の時間」といった意味合いがあり、本来のニュアンスとは異なります。例えばホテルの郵便局の「サービスアワーズ」は「営業時間」を指すものです。したがって、単なる「ボランティア活動」と混同しないように注意が必要です。

職業奉仕とは、自らの職業の中で他者に貢献することを意味します。たとえば医師が患者の心に寄り添い、誠意を尽くして診療することが職業奉仕です。一方、無料の健康相談会を開催することは社会奉仕にあたります。また、タクシー運転手が目的地の不明な高齢者を親身に対応して目的地に送り届けるのは職業奉仕ですが、知人を無料で乗せるのは社会奉仕です。このように、職業奉仕と社会奉仕の違いを正しく理解することが重要です。

私自身の体験として、東日本大震災後に被災地を訪れ、僧侶として慰霊活動を行ったことがあります。石巻の大川小学校では多数の命が失われました。私は遺族の方々の話を、助言を差し挟まず、ひたすら耳を傾けて受け止めました。その姿勢が、相手の心を和らげたことを後に知り、「ただ聞くことの尊さ」を改めて実感しました。これは、まさに相手の立場に立つ職業奉仕の姿勢そのものであり、私の職業人としての役割でもありました。

奉仕活動においては、「例年やっているから」「決まっているから」といった慣習に流されず、相手が本当に望んでいること、必要としていることに目を向けるべきです。相手のニーズを見極め、それに寄り添うことが大切です。自己満足に終わらず、相手のためになっているかを常に問い直す姿勢が求められます。

そして、他者を思いやるためには、自分自身の感性を磨いておくことが不可欠です。現代では、人間の感性が鈍くなってきていると言われますが、感性とは人や自然、物事すべてに対して心を通わせる力です。たとえば、机や道具に対しても敬意を持って接することが感性を育てる一歩です。感性を高めることは、より深い職業奉仕、そして人間理解につながります。

結びに、奉仕活動するにあたっては、単に「奉仕すること」ではなく、他者に寄り添い、支えることです。その根底にあるのは、他者への敬意と感性であります。新年度は、皆さんが職業・社会奉仕でご活躍いただくことをお祈りいたします。

新大宮駅北側庭園 草引き清掃奉仕活動（弓場会員より）

日時：2025年4月26日（土）16時から
今年も桜を綺麗に咲かせてくれた新大宮駅北側庭園も、奈良市に寄贈させていただき、はや4年が経ちました。雑草もたくましく伸びておりましたが、クラブメンバー19名で取りかかりますと、1時間もかからずに綺麗に完成いたしました。
本当にたくさんのベテラン、若手メンバーも集まり、笑顔で笑い声も聞こえて、明るく楽しい奉仕活動になりました。最後の集合写真は、みんなとっても良い笑顔でした!!
もちろん気持ちの良い汗をかいた後は、楽しく懇親を深めさせていただきました。





合計 42,000円

累計 2,839,000円

宮西正伸君 地区委員の皆様、本日の卓話、有り難うございます。
山口尚紀君 明後日の24日が誕生日です。みなさま、お祝いありがとうございます(笑)
ニコニコ協力 市田富久夫君 金田智仁君 武中洋勝君 中谷圭佑君 松井和弘君
水野憲治君 南谷正仁君 宮坂勝紀君 森田住秀君

◆例会休会・変更のお知らせ◆

<奈良西ロータリークラブ>

- ・5月15日(木) 変更 早朝移動例会 霊山寺にて
- ・5月22日(木) 変更 平城京RC合同例会 ホテル日航奈良にて
- ・6月12日(木) 変更 家族親睦移動例会 小浜方面
- ・6月19日→20日(金) に変更 第3回クラブデー移動例会
奈良ロイヤルホテルビアホールにて

※いずれもビジター受付は行いません

今後の予定

- ・5月18日(日) 家族親睦例会 於：万博
- ・5月20日(火) 休会(例会日振替20日→18日)
- ・5月27日(火) 新入会員卓話(稲生会員、戒田会員)